

小田原市報

才68号
発行所 小田原市役所
小田原市幸1の138
編集兼発行人 浦 寅 松
印刷所 又進堂印刷所
定価 一部 三円

天皇 皇后両陛下下

県立婦人公営職業補導所へ お成り



県立婦人公営職業補導所にお着きの両陛下

天皇 皇后両陛下には、才多数が沿道にお出迎えするに、お茶番橋入十回、国体開催にあたり、中を御会釈を賜りつつ御通覧を御覧になるとともに、過午後二時二十分、県立婦人公営職業補導所に御到着のため、県下各地を巡幸遊ばされておりました。十月三十一日、小田原市にある県立婦人公営職業補導所にお成りになりました。

当日、市内の小中高校生、児童約一万二千人及び市民が、天皇皇后両陛下をお出迎えするに、お茶番橋入十回、国体開催にあたり、中を御会釈を賜りつつ御通覧を御覧になるとともに、過午後二時二十分、県立婦人公営職業補導所に御到着のため、県下各地を巡幸遊ばされておりました。十月三十一日、小田原市にある県立婦人公営職業補導所にお成りになりました。

「戦没者遺児等の身元保証規則の実施について」

今度県では全国に先がけ、戦没者遺児等の身元保証規則を制定し本年十一月一日より実施することになりました。この制度は父親を失くした戦没者遺児と未だ異郷の地に抑留されている留守家族の子供等が学業を卒業し、社会へ巣立つに当たり、親族が困難とされている現状にかんがみ、遺家族等援護対策の一環として制定されたものであります。この制度は遺児等が就職する際、親族が困難とされている現状にかんがみ、遺家族等援護対策の一環として制定されたものであります。この制度は遺児等が就職する際、親族が困難とされている現状にかんがみ、遺家族等援護対策の一環として制定されたものであります。

（目的）この規則は、戦没者遺児等が就職するに当り、親族が困難とされている現状にかんがみ、遺家族等援護対策の一環として制定されたものであります。この制度は遺児等が就職する際、親族が困難とされている現状にかんがみ、遺家族等援護対策の一環として制定されたものであります。

（遺児等の定義）遺児等とは、戦没者遺児等援護法（昭和二十七年四月一日法律第二十七号）にいう遺族並びに未帰還者留守家族等援護法（昭和二十八年八月法律第一六六号）にいう留守家族のうち、戦没者又は未帰還者の直系卑属に該当する青少年をいふ。

（保証契約）（一）保証契約は、前条の申す遺児等が就職するに当り、親族が困難とされている現状にかんがみ、遺家族等援護対策の一環として制定されたものであります。この制度は遺児等が就職する際、親族が困難とされている現状にかんがみ、遺家族等援護対策の一環として制定されたものであります。

（保証期間）（一）保証期間は、前条の申す遺児等が就職するに当り、親族が困難とされている現状にかんがみ、遺家族等援護対策の一環として制定されたものであります。この制度は遺児等が就職する際、親族が困難とされている現状にかんがみ、遺家族等援護対策の一環として制定されたものであります。

（保証責任限度）（一）保証責任限度は、前条の申す遺児等が就職するに当り、親族が困難とされている現状にかんがみ、遺家族等援護対策の一環として制定されたものであります。この制度は遺児等が就職する際、親族が困難とされている現状にかんがみ、遺家族等援護対策の一環として制定されたものであります。

（保証更新）（一）保証更新は、前条の申す遺児等が就職するに当り、親族が困難とされている現状にかんがみ、遺家族等援護対策の一環として制定されたものであります。この制度は遺児等が就職する際、親族が困難とされている現状にかんがみ、遺家族等援護対策の一環として制定されたものであります。

（保証解除）（一）保証解除は、前条の申す遺児等が就職するに当り、親族が困難とされている現状にかんがみ、遺家族等援護対策の一環として制定されたものであります。この制度は遺児等が就職する際、親族が困難とされている現状にかんがみ、遺家族等援護対策の一環として制定されたものであります。

（保証終了）（一）保証終了は、前条の申す遺児等が就職するに当り、親族が困難とされている現状にかんがみ、遺家族等援護対策の一環として制定されたものであります。この制度は遺児等が就職するに当り、親族が困難とされている現状にかんがみ、遺家族等援護対策の一環として制定されたものであります。

（保証その他）（一）保証その他は、前条の申す遺児等が就職するに当り、親族が困難とされている現状にかんがみ、遺家族等援護対策の一環として制定されたものであります。この制度は遺児等が就職するに当り、親族が困難とされている現状にかんがみ、遺家族等援護対策の一環として制定されたものであります。

年末現在で 工業調査実施さる

毎年十二月末現在で全国的に行われる工業調査は、事業家の実務上の参考資料として、また、国策の立案に資する重要な統計調査として、全国的に行われる。小田原市においても、この調査が実施される。調査の対象は、製造業、建設業、運輸業、通信業、金融業、サービス業などである。調査の結果は、市の工業発展に資する重要なデータとなる。

国勢調査の概数発表

十月一日現在で調査した国勢調査の概数発表が、県庁で行われた。発表によると、小田原市の人口は、前回の調査から増加していることが確認された。特に、労働人口の増加が顕著である。これは、市の産業発展と人口増加の好循環を示していると考えられる。

全国一斉に 「火災予防週間」実施

十一月二十六日から十二月二日まで、全国一斉に「火災予防週間」が実施される。この期間は、火災予防の重要性を広く国民に周知し、火災予防意識を高めるための期間である。小田原市においても、消防団や自治会などを通じて、火災予防の啓発活動が行われる。

歳末たすけあい運動に 御協力を

十二月一日から二十五日まで、歳末たすけあい運動が実施される。この運動は、生活困窮者に対する支援を目的として行われる。小田原市においても、市民の協力を得て、生活困窮者に対する支援活動が行われる。

小田原市の火災状況

才十回国体盛會裡に終る

入場料収入は
百七萬七千六百
二十三円

高校男子 高校女子、教員 入場料収入は、前飛七、一
一般男子、一般女子、及び 五三枚、五十三万六千五百
一般男子（四十五才以上） 七十三円、団体九、七六六
の各種別に別れて熱戦が展 円、三十二万二千七百三十
開され、高校男子の部にお 円、当日売り三、一〇二枚
いては小田原高校の青木、 三十一万八千三百二十円（
青木（啓）組、井山、土屋組 プログラム売上も含む）、
が輝く優勝を遂げ、郷土の 合計金額にして百七万七千
爲に万丈の氣を吐き、高校 六百三十三円に上り当初の
女子では広島、教員では愛 見込をはるかに上廻る好成
知、一般男子では岡山、一般 績をあげることができまし
女子では岡山、一般男子（た）

二百三十万円余に達す

国体後援会小田原支部では国体開催経費の一部に充て

るため、地区嘱託員の方々を賛助員として協力を煩わし市民の皆様の御理解を得て応分の御寄附をお願いしておりましたが、地域募金目標額二百七万二千二百円に対し、百五十四万七千七百七十円(七四、六九%)の成績を挙げることが出来ました。又商工会議所を通じて各業域にお願いした目標額百万円の分は、五十二万二千七百十円(五二、二七%)に及び、その他直接、市役所で扱いました特別分寄附金二十三万二千円を合せて、寄附金総額は二百三十万二千四百八十円に達しました。

才十回國体に対する市民の皆様方の御協力に對しここに深く感謝いたす次第であります。

二千七百十四(五二、二七%)に及び、その他直接、市役所で扱いました特別分寄附金二十三万二千元を合算させて、寄附金総額は二百三十三万二千四百八十円に達しました。

芥十回団体に対する市民ののた皆様の理解ある御協力に對しここに深く感謝いたす次第であります。

マスゲーム大会

才十回國体は十月二十九日の国体前夜祭によつてその幕を切つて落されました十月二十九日の薄暮、国府津濱を出発した聖火リレーは、沿道市民の拍手に迎へられて酒匂山王、万年、国際市、市内の中小高校生七千四百名及び市内婦人会員千名による徒手体操、組体操、リズム運動、民謡手おどりなど十種目にわたるマスケームが秋晴れの城山陸上競技場を舞台として展開されました。折から日曜日となつて競技場観覧席は勿論、競技場前の道路、駐車場などは約二万の来会者で埋めつくされました。

国体競技を熱心に御観戦

当市で開催された才十回国の御案内で約三十分間高校女子準決勝八尾高校(大阪)の体軟式蹴球及びソフトボール

陸上競技大会が開かれまし
た。
県教育委員会、県下高校体
育連盟主催によるもので、
男子高校三十校、三百六十
六名、女子高校十四校、八
十名が参加した。大会は、
槍投げとともに大会及び県下
各校の新記録を出したこと

産業勤労者表彰さる

勤労感謝の日十一月二十三(労働者表彰規則)にもとづいて

景下高紋陸上

庭球競技を御覧になる高松宮殿下

（球場）十一月三日までの国体競技 彰者三十名に対しそれぞれに御到に引き続いて、十一月六日 表彰状と記念品が授与され 着、鈴には、午前九時から市営城 ました。

木市長 山陸上競技場で、県下高校 この表彰式は、市が産業勤

篤行兒童の表彰行わる

清) 中村伝吉(株式會社
鈴木松浦鋸店) 岩田利三郎
(湯淺電池株式會社) 沖山
まし(小田原製紙株式會
社) 須藤繪(山崎鋸泉所)
住吉新太郎(濱野木工所)
川崎礼吉(大同毛織株式
會社) 戸張勝治(有限會
社精巧舎) 中西和男(株
式會社ハヤノ) 穗坂龍之
助(原度器株式會社) 板谷
衣子(株式會社マルヤ吳
服店)

農業關係(十名)
田中諱吉(秋窪) 木村房雄
(運正寺) 奥津吉藏(久野)
安藤立子(風祭) 山本仙太
郎(早川) 志村喜作(下堀
) 星野利八(飯泉) 大浜彦
太郎(石橋) 中村虎吉(酒
匂) 下川松平(田島)
水産關係(五名)
野田平太郎(山王原) 加藤

愛之助(早川) 山橋平八
(幸) 久保田重太郎(幸) 谷
川平八郎(幸)

国連ポスター廳
募作品の県本部
審査會

さきに募集いたしました国
連ポスターは県内各支部の
予選を通過した合計一七八
点が県本部に送付され、さ
る十月五日審査會を開いた
結果、本市關係として左記
の者が入選いたしました。

◎小学生の部
二等二席
下曾我小学校 鳥井佳代
◎一般の部
三等二席
十字二ノ四五〇
中村稔彦

小田原市教育研究所

見敏子（「鷗中学校」松本
奎子、太田秀市、白山中
学校津田日吉、山崎富代
岩本久義（城南中学校）
加藤豊（鴨宮中学校）本多
彪（千代中学校）中村雅美
（酒匂中学校）小沢富子
（国府津中学校）杉本康司
（片浦中学校）鈴木勉

元堀の結果から、こ

もとの形は、二段のお供もちのような円墳であつと考えられてゐます。

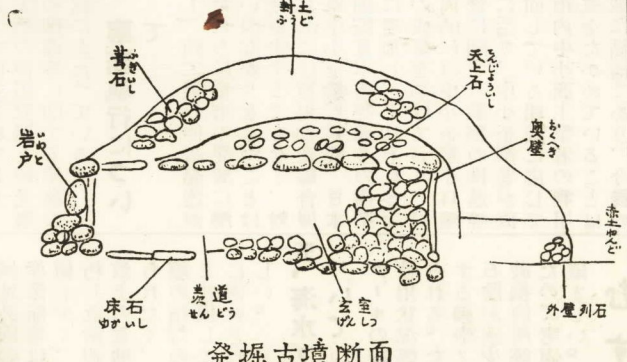
つまり、上段径十メートル、上段径十メートル、さ約四メートルの二段で、面は、一面にふき石でおわれてゐたようです。

棺の納められていた石室めぐらして土留めとする⑥
幅一、五メートル、長封土の表面をまるくひらた

所（小沢邦夫）

大藏省印刷局小田原病院
小田原市酒匂一、一七〇(国府津三六五)
東京都済生会中央病院
東京都港区芝赤羽町一(東京(四五)八、二一一)
国保だより
盤田診療所(小沢邦夫)
小田原市蓮正寺二二六
木内診療所(木内豊治)
小田原市堀ノ内六三
堀内歯科診療所(堀内品夫)
小田原市緑一ノ四〇(三〇六)

い が ほう む ら れ て あ つ た
よ う で す。



七メートル、高さ二メートルほどで、玄室（げんし）と羨道（せんどう）と分れていました。石室は、壁・床・天井など、いずれも大小さまざまな自然石と粘土とによつてみ固められていました。注）天井石は幅七〇―九〇センチメートル、長さ二〇―一六センチメートル、厚さ一五―三〇センチメートルの平たい石八枚が使用されていた。

古墳の造り方

大部分破損、形のわかるもの一七箇刀類：二本土器類
少数のはじ器、すえ器などの破片
◎はじ器：彌生式土器の発達したもので、東日本に多い。祭祀に用いられたものらしい。赤紫色。
◎すえ器：大陸の焼物文化の伝来であらうといわれる。形が整つていて灰色
△人骨：二体
遺物から想像して、少くとも男女二体以上の遺がいがある。うむられてあつた